

令和8年度事業計画

1. 事業目標

団塊の世代(1947年から1949年生まれ)が75歳以上の後期高齢者となり、介護や医療の需要がピークを迎える一方で、介護人材は慢性的に不足しています。このような中、限られた人材で質の高いサービスを維持するために、職員の育成に取り組みます。また、ICTの導入や業務の効率化を通じて、職員の負担軽減を図ります。

(1) まほろばの里

① 特別養護老人ホーム

利用者一人ひとりの生活歴や価値観を尊重し、生きがいを感じながらその人らしく生活できる支援を行います。また、今年度から採用される外国人を含む全ての職員が安心して働き、成長できる職場環境作りに取り組みます。

② デイサービス

<通所介護>

「通うのが楽しみになるデイサービス」を目指します。

現在は体や心の調子に合わせて、利用者様ご自身にリハビリテーションやリラクゼーションなどの活動を自由に選択していただいておりますが、さらに趣味活動や小グループでの交流を通じて、役割や達成感を感じることができる場を提供します。これらの取り組みを整え進化させることで、利用者様の主体性と生活意欲を高め、笑顔で安心して在宅生活を続けられるように支援します。

<認知症対応型通所介護>

「通い続けたいデイサービス」を目指します。

そのために、職員間の情報共有を徹底し、利用者様一人ひとりに合った統一したケアで安心感のあるサービスを提供します。ご家族様に対しても、日常の様子との共有や相談支援を通じて介護負担の軽減に取り組み、信頼される事業所運営を行います。

③ グループホーム

日頃から利用者様とコミュニケーションを密に取り、小さな変化に気づいてお声かけできるように努めるとともに、利用者様の「日常生活動作」や「生活の質」の維持・向上のため、レクリエーションや外出行事を取り入れていきます。また、ご家族様に対してもLINEの活用や面会時のコミュニケーションを大切に、利用者様にとっても穏やかで安心できる場所となるように努めます。

④ 在宅介護支援センター

利用者様の尊厳と自己決定を尊重するとともに、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続できるように、公正中立な立場で適切なケアマネジメントを行います。また、多職種との連携を図り総合的な支援を行います。

(2) みそら

児童発達支援・放課後等デイサービス

子どもたちが遊びの中から「生きていく力」「学ぶ力」「楽しむ力」を育み、自分らしく生きていく力を身に付けていくための経験を積み重ねていけるように、子どもたちを主体にした支援を心がけていきます。

・行動障がいのある子どもに対し、安心して過ごすことができる環境の整備や、本来の力を発揮

できる支援方法を検討します。

- ・職員の研修受講の機会の確保に努め、支援知識の獲得や支援技術の向上に努めます。

2. 各事業別目標稼働率

(1) まほろばの里

特養	98%	ショートステイ	98%
デイ（一般）	93%	デイ（認知症対応型）	90%
グループホーム	98%	居宅介護支援	95%

(2) みそら

児童発達支援・放課後等デイサービス 93%

3. 月別行事予定（感染症の発生状況を踏まえたうえで、実施の可否を決定する。）

4月 お花見
5月 子供の日・母の日・石海小学校運動会
6月 父の日・紫陽花見物
7月 七夕
8月 そうめん流し・夏祭り（事業所単位で実施）
9月 お月見・敬老の日
10月 秋季例祭・石海保育園運動会
11月 紅葉ドライブ
12月 クリスマス会（事業所単位で実施）餅つき
1月 初詣・新年行事
2月 節分（豆まき）
3月 おひなまつり・梅見

4. 定例行事

お誕生会、外食（又はテイクアウト）、音楽レクリエーション、習字教室、ドライブ

5. ボランティア協力行事

ボランティア行事は、各部署で慎重に検討する。

6. 理事会・評議員会開催予定

令和8年6月 決算他
令和9年1月 補正予算他
令和9年3月 次年度予算他

*上記の他に必要に応じ随時開催